

# the Netherlands & Denmark

## 個の生命力を活かした 医療/福祉/保育の現場 × well-being を支える 環境づくりの探索

道のり

海外研修の動機は?

5月のオハイオ州の学生との交流を通して、文化を超えて繋がれたのが楽しかった。グローバルな視点に触れて、自分の関心を見つめ直したい、将来の活動範囲を広げたいと思った。初海外&初研修で不安も多かったが、二度とないかもしれない絶好の機会を通じてよかった。

特に医療や福祉の現場において、机上で学べないことがあるあると考えており、フィールドワークの機会を求めていた。コロナ禍で世界のあたたかな生の時には国内研修を行ったが、自分の関心が進路に大きな影響を与える経験だった。海外渡航が許された今回は、さらに広い見識を得られるのではないかと期待し、海外研修の企画を始めた。

収穫

専門職養成学校 SOSUH

介護・看護分野の専門職養成校。  
SOSUH helperは基本的な介護者教育で、卒業後は主に老人ホームや家庭での医療介護。



小学校教員 海老原さやかさん

Grydemoseolen Skolen TeamW:国民学校(併設特別クラス)一般クラスと、学年障害を持つ児童のための特別クラスTeamM:あわらTeamWには16歳の女の子約70人が在籍。海老原さんは、日本からデーターマーク移植し、このクラスで教育/管理職を務める方。

● カフェで話す



教育のゴールは「自分を知ること、生きる価値や暮びを感じること」だと表現されていた。データーマークはTeamMのようなら特別支援教育の象徴的精神的、知的な実践をもつ児童に開拓するそうだが、この段階の手の手を貰う経験だった。通常の学校では受けられないサービスを貰うあげるため特別支援教育ではなく、このゴールのために個別化に付ける特別支援教育は、むしろ積極的な選択肢だと感じた。

日本で医療・介護サービスや保健・福祉の話題は、深刻な社会問題として語られることが多いと思う。しかし今回の研修では、取り組みや学びについて、課題を含めて前向きに語る方の姿が印象的で、少し自身も医療・福祉に携わることへの興味と楽しさを持ちたれずいたいと思つた。

想い

5つの訪問先

学んだこと

全体の学び

自分が日本の教育を象徴するものを受けたわけではないが、今回見聞した限り私は自分の教育よりも感覚を通じた「実践」と個々の主体性に重点を置いており、それが思考の様になっていたと感じた。

どうやって  
訪問国・施設を決めた?

医療・福祉の環境デザイン、乳幼児教育、  
国民のwell-beingなどに着目する中で、2カ国で  
関心のある取り組みが見つかった。

デンマーク(国民の幸福感が高い)とともに言われており、健康の基盤が育まれるかの初期の教育に注目したいと思った。また、特徴的なヒーリング建築を持つ病院のひとつがデンマークにある。見学を通して、医療のこれまでの歴史と、病院の今とを比較して考えたかった。

オランダ(この国で提唱されている「健康」を当事者主体の事柄として捉えている。「健康」を当事者主体の事柄として捉えている。「Positive Health」という概念に興味を持っていた。例えは認知症高齢者の豊かな暮日の実現を目指した先進的な介護施設の事例を学ぶことで、主体性や尊厳の守られる医療・福祉のあり方を探索したいと考えた。

★その中で具体的な訪問先をどう選んだ?

論文、書籍、他大学や団体などで企画されている  
スタディツアーの報告書などを。

看護科学専修 4年 大久保紗佳

看護科学専修 4年 杉本達哉



どうやって  
訪問依頼した?

自分たちで文章を作成し、  
メールで依頼した。8件中5件成功。  
返信のないところや、希望する  
日程・形式での訪問が不可能な  
ところもあった。

学科からのサポート

- 企画内容のブラッシュアップ
- 訪問依頼手順とスケジュール
- に関する相談
- 依頼メールの添削
- ホテルや飛行機の手配
- 保険加入の手続きなど

“認知症の村” Hogeweyk

“森のようちん” Bonsai

幼少期の豊かな生育環境がその後の人生の基盤となるという意味で“Bonsai”と名づけられた。森のようちんには、毎日数時間屋外へ行く園と、みの内に園舎がある園、バスを園舎として毎日野外へ出かける園など、様々な形がある。

● 旗養見学・お話を



“認知症の村” Hogeweyk

オランダの長期介護制度Wizに基づいて作られた、認知症の人ための施設。6-7人との同棲+アレンジメントで構成され、看護師や医師、理学療法士などがケアの一環として働く。約200名の入居者は各自で外出し、支援を受けながら自立した生活や療養を楽しむ。

● 講義・旗養見学



専門職養成学校 MBO Utrecht

オランダでは義務教育の後3つにルートが分かれる。義務教育→中等職業訓練教育→中等職業教育“MBO”と進み4年間の課程を修了すると、技術・経済・介護・福祉・農業などの専門分野で就職できる。職業訓練教育の課程では、理論を学ぶ授業と実地研修が行われている。

● 授業参加・旗養見学



Schedule 2023.11.18~26

Day1 夜 成田発  
Day2 朝 ベンガラーゲン着  
Day3 昼 ベンガラーゲン成学校 SOSUH  
星◆特別支援教育に興味  
先生◆「おひこ」  
Day4 晩◆「森のようちん」 Bonsai  
星◆SOSUH  
Day5 星◆コスモバーンニアースプログラム  
Day6 晩◆「認知症の村」 Hogeweyk  
Day7 昼◆専門職養成学校 MBO  
Day8 星◆アムステルダム観  
Day9 夜 成田着

既存のプログラムではなく、  
自分の学びたいこと、行きたいところ  
に合わせて組むことができ、金融などのところ  
から内容の組み方まで手厚くサポートしてもらえる  
機会は、本当に貴重でした。感謝申しあげます。

心も体も健康に必要な研究修習を走り抜けられて安心でした。訪問先でもそれ以外の世界でも、現地の人たちの優しさに助けられたなと感じます。そしてこの研修に「行って終わり」ではなく、むしろ始まりと思いたい。  
挑戦と学びの実績を持ち、「豊かな暮らし」を  
実現できる社会を追求したいです。

反省

①日本のことも現地のことも、  
事前にもう一度調べて詳しくなりたかった。  
②英語を話す・聞く習慣が乏しく現地での  
コミュニケーションが苦戦した…  
③迷津を早く行ったかった!

メッセージ

まし対行くべき!!!  
こんな機会なかなかないです!

「英語ができないん」「行きたい場所が見当たらないから」「面倒くそだな」 全部乗り越えていく  
サポートがありすぎて楽しかった! 全く出てこない  
やる気出るのでもう敵なことだ。  
次の冒険者たちが増えてそれが  
ワクワクを叶える人が増えたら  
嬉しいなって思います。

